

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	不整形構造物のモデリング検討小委員会		主 査 名：山田耕司 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：高田豊文
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまでの実施設計，研究事例で得られた「整形性の高い重層構造物」以外の構造物（通常の建築用一貫設計プログラムでは適用範囲外となる構造物）のモデル化手法を収集・整理し，実施設計と関連付けた資料（構造設計時に用いる仮定の適用範囲の明確化，汎用プログラムを用いた際のモデルより得られる結果の意味とその評価法など）を作成し，社会に発信すること．</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：調査項目の検討・分析 ・ 2 年度：検討項目の分析 ・ 3 年度：前半：検討項目の分析，後半：まとめ作業 ・ 4 年度：前半：大会 PD の準備，後半：小委員会の総括 		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：山田耕司（豊田工業高等専門学校） 幹事：諸岡繁洋（東海大学） 委員：朝川剛（東京電機大学），朝山秀一（東京電機大学），片迫幹男，近藤典夫（日本大学），小嶋英治（小嶋英治技術士事務所），榊原啓太（日建設計），佐藤淳（佐藤淳構造設計事務所），新宮清志（日本大学名誉教授），立道郁生（明星大学），前稔文（大分工業高等専門学校）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：幾何学的に不整形な建物のモデル化の工夫 参加者数 171名 『構造部門(応用力学)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「不整形」をキーワードに，実施構造物，研究例の情報を共有した。 2. 2017 年度大会 PD を開催した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 主査多忙のため，小委員会活動に支障をきたした。